

開館15周年 郷土ゆがりの文学資料収蔵展

2020.2.5wed.-3.29sun.

会場／文化のみち二葉館 2階展示室 時間／10時～17時 ※月曜休館(祝日の場合はその翌日)
入館料／一般200円 中学生以下無料(各種減免あり) ※2月8日(土)開館記念日「ふたばの日」は入館料無料

トークイベント

「忘れてませんか!
名古屋で育った作家たち」

2020.2.16.sun.13:30-15:00

講演：前半／山下達治「逍遙・二葉亭“洋学校”」

後半／三田村博史「栄を歩いた乱歩、城山三郎ほか」

会場：文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席



主催：

文化のみち二葉館

〒461-0014 名古屋市東区榎木町3丁目23番地

【名古屋市旧川上貞奴邸】

Tel&Fax 052-936-3836 <https://www.futabakan.jp/>

後援：中部ペンクラブ、中日新聞社

開館15周年 郷土ゆかりの文学資料収蔵展

文化のみち二葉館は、文化のみちエリアの拠点施設として平成17年2月8日に開館し、この度開館15周年を迎えます。当館は、かつて川上貞奴と福沢桃介が暮らした邸宅であるとともに、名古屋市内における唯一の近現代の文学資料室でもあります。開館当初より、郷土ゆかりの文学に関する資料を収集して、その資料をもとに企画展やイベントなどを催し、地域文芸の魅力について発信してきました。

作家の城山三郎や歌人の春日井



建をはじめ、これまで数多くの作家やそのご家族、関係者などからのご寄贈により、現在では約5万4千

点の資料を収蔵しています。

今回の展示では開館15周年を記念して、多彩な収蔵品のなかから選りすぐりの資料とあわせて郷土ゆかりの作家や作品などについてご紹介いたします。

トークイベント

「忘れてませんか！名古屋で育った作家たち」

日本の近代文学の祖といわれる坪内逍遙、二葉亭四迷から現代に至るまで、名古屋とゆかりのある作家たちについてお話しいただきます。

■講演 前半/山下達治「逍遙・二葉亭・洋学校」

後半/三田村博史「栄を歩いた乱歩、城山三郎ほか」

■日時 令和2年2月16日(日) 13時30分～15時(各45分)

■会場 文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

出演者プロフィール

「山下達治」1949年名古屋市生まれ。郷土文学研究会、あいち文学フォーラム、名古屋に関わる近代文学者の調査研究を行う。生涯学習センターで「逍遙の関いたる」文化のみち二葉館で「逍遙の原点・美濃太田と尾張名古屋」などの講演。主な論文「小葉風葉と「青春」など」。



「三田村博史」1936年岐阜県根尾生まれ。第2回石森猛男児童文学奨励賞、第4回海外紀行文学賞、第1回中部ペンクラブ文学賞、2004年2月名古屋市長賞を受賞。著書に「命の工」など。新刊に「東海の文学風土記」(中部ペンクラブ会報)。



坪内逍遙

(1859-1935)

二葉亭四迷

(1864-1909)

久野豊彦

(1896-1971)

城山三郎

(1927-2007)

春日井建

(1938-2004)

小谷剛

(1924-1991)

岡井隆

(1928-)

しかたしん

(1928-2003)

福永令三

(1928-2012)

などを紹介

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館
【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3-23

Tel & Fax 052-936-3836

https://www.futabakan.jp/

「ドニエコきっぷ」「一日乗車券」

をご利用してご来館の方は入館料割引(一般200円→160円)



交通のご案内

- 名古屋観光ルートでスエーデン「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白雲」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高島」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「忍ヶ浜」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

